

津波ハザードマップ

津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐに避難
 地震発生後、津波が到達するまでの約100分間に
 ● JR阪和線を目標に、東の高い所へ徒歩で避難しましょう。
 ● 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。

津波浸水想定について

想定された津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのものですが、津波は自然現象であり、さらに浸水域が広がる可能性があります。

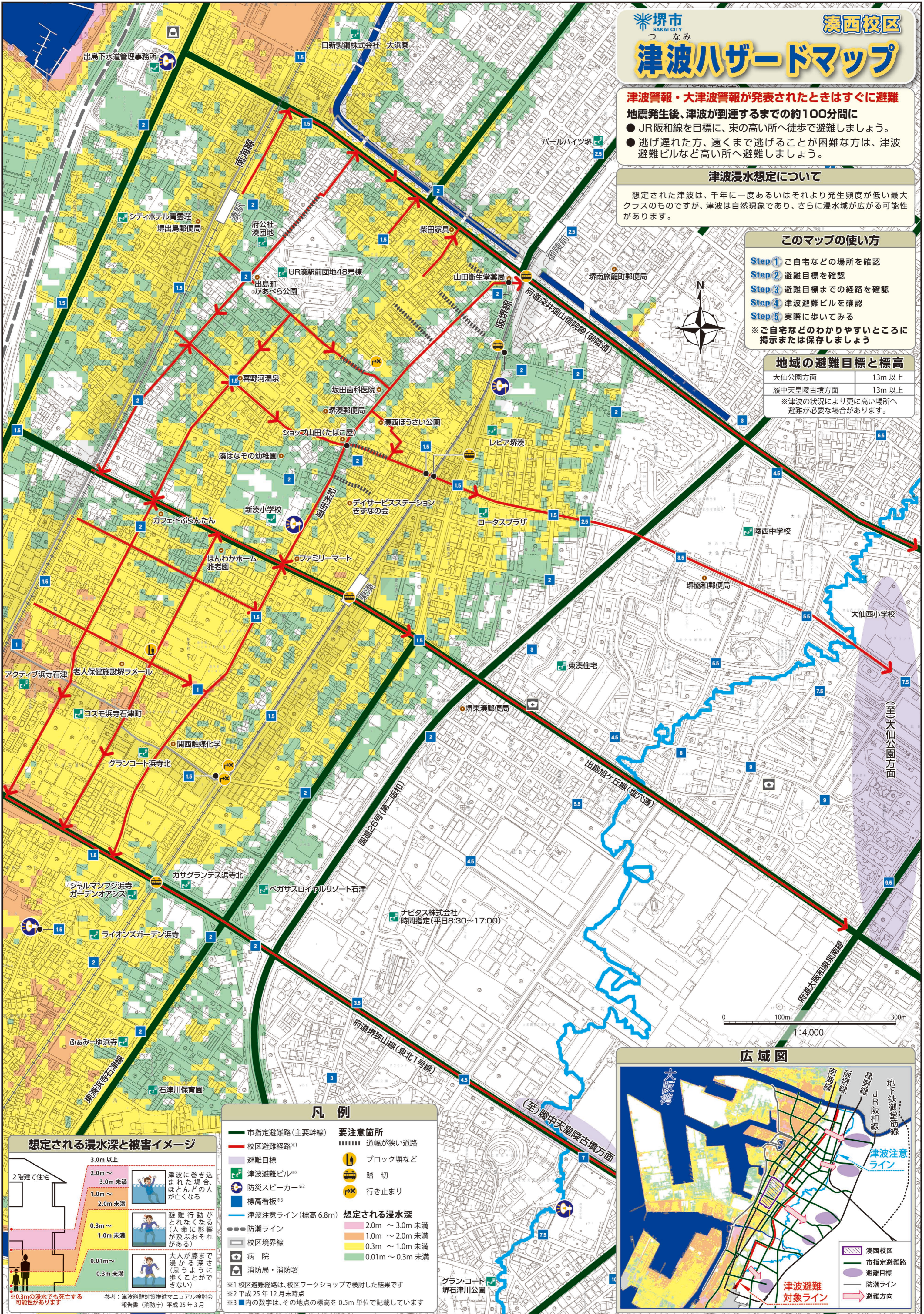
このマップの使い方

- Step ① ご自宅などの場所を確認
 - Step ② 避難目標を確認
 - Step ③ 避難目標までの経路を確認
 - Step ④ 津波避難ビルを確認
 - Step ⑤ 実際に歩いてみる
- ※ご自宅などのわかりやすいところに掲示または保存しましょう

地域の避難目標と標高

大仙公園方面	13m 以上
履中天皇陵古墳方面	13m 以上

※津波の状況により更に高い場所へ避難が必要な場合があります。

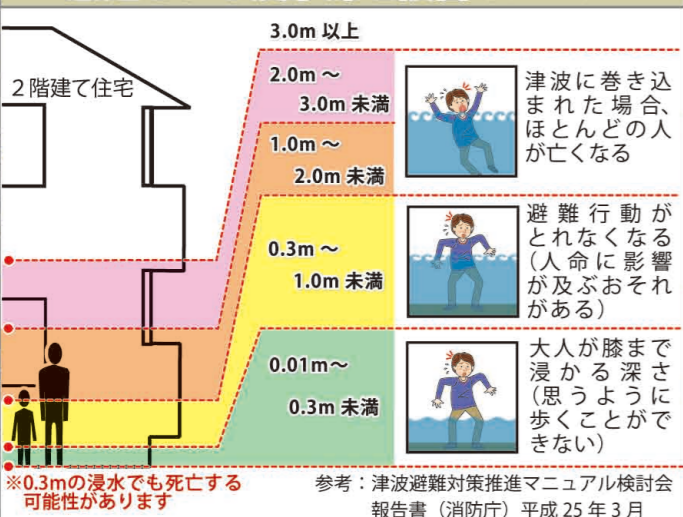


凡例

- 市指定避難路(主要幹線)
 - 校区避難経路^{#1}
 - 避難目標
 - 津波避難ビル^{#2}
 - 防災スピーカー^{#2}
 - 標高看板^{#3}
 - 津波注意ライン(標高6.8m)
 - 防潮ライン
 - 校区境界線
 - 病院
 - 消防局・消防署
- ※1 校区避難経路は、校区ワークショップで検討した結果です
 ※2 平成25年12月末時点
 ※3 内の数字は、その地点の標高を0.5m単位で記載しています

- 要注意箇所
 - 道幅が狭い道路
 - ブロック塀など
 - 踏切
 - 行き止まり
- 想定される浸水深
- 2.0m ~ 3.0m 未満
 - 1.0m ~ 2.0m 未満
 - 0.3m ~ 1.0m 未満
 - 0.01m ~ 0.3m 未満

想定される浸水深と被害イメージ



広域図

